

第 54 回 近畿数学教育学会例会プログラム

日時：平成 25 年 9 月 14 日（土）
会場：龍谷大学 大阪梅田キャンパス

受付 9：30～10：00
発表（午前） 10：00～

A 会場

10：00～10:30

A1. RME 理論を用いた計算多角形の分析

大阪教育大学大学院生 小川 達也

10：40～11：10

A2. 数学教育における直観と論理の関連に関する研究
ー確率概念に焦点を当ててー

大阪教育大学大学院生 緒方 友美

11：20～11：50

A3. 対数学習における具象化の困難点に関する考察

大阪教育大学大学院教育研究科 野原 将宏

ポスター発表 11：50～12：20

- i. 和家 祥一（大阪市立大正東中学校）
- ii. 平野 年光・山本 景一（関西和算問題教材化研究会）
- iii. 重松 敬一（前奈良教育大学）・勝美 芳雄（帝塚山大学）・上田 喜彦（天理大学）

昼休憩 12：20～13：30

総会 13：30～14：00

発表（午後） 14：00～

A 会場

14：00～14：30

A4. 教職課程における数学科教育法

ー専門家としての数学教員を育てるためにー

甲南大学 平井 崇晴

14：40～15：10

A5. 大学初年次生の数学に対する態度についての一考察

同志社女子大学 今井 敏博

15：20～15：50

A6. 掛け算九九の暗唱をめぐる

；算数科にそろばんの復興をめざし…考えたこと

兵庫教育大学名誉教授 板垣 芳雄

閉会行事 15：50～16：10

B 会場

10：00～10:30

B1. モデル化とシミュレーションの一例

立命館宇治高等学校 稲葉 芳成

10：40～11：10

B2. 授業者と学習者双方が「楽しい」と感じる視点を
手がかりとした算数授業の分析に関する一考察

三重県立松坂市立第五小学校 山中 伸一

11：20～11：50

B3. 問題解決における理論的枠組みの作成

ー数学学習の要因としてのメタ認知の役割ー

奈良教育大学大学院生 竹間 光宏

14：00～14：30

B4. 課題学習における中高のつながりと教材開発

香川大学 風間 喜美江

香川大学大学院生 杉本 紘野

香川大学大学院生 豊田 稔

14：40～15：10

B5. 小学校「算数」に連続する幼稚園「数量・形」の「カリ
キュラム（単元）」開発に関する研究

甲南女子大学 船越 俊介

甲南女子大学大学院生 岡辻 佳寿子